



衆議院議員

大串まさきの国政報告

free

兵庫六区
(伊丹・宝塚・川西)
で配布中!

特集

地元と国を繋ぐ活動

VOL. 18

バックナンバー配信中 **ゼロロック**
<http://www.m-ogushi.com/archive.html>

VOL.

▶ 党員募集のご案内

みなさんも自民党に入党して、党員としていっしょに自民党を支えてみませんか？ 入党資格は、わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方、満 18 歳以上で日本国籍を有する方、他の政党の党籍を持たない方です。

党費は年額 4,000 円（家族党員は 2,000 円）です。詳しくは自民党兵庫六区支部（072-773-7601）まで、ご連絡下さい。

大串まさき プロフィール

- ▶ 昭和 41 年、兵庫県生まれ。
- ▶ 報徳学園高校卒（74 回）、東北大学卒、同大学院修了（工学修士）。I H I（株）、松下政経塾を経て北陸先端科学技術大学院大学修了（博士）。西武文理大学准教授等を歴任。
- ▶ 平成 23 年 3 月、公募により自由民主党 兵庫県第六選挙区（伊丹市・宝塚市・川西市）支部長に就任。
- ▶ 平成 24 年 12 月、第 46 回衆議院総選挙にて初当選。以降、第 47 回（平成 26 年）、第 48 回（平成 29 年）総選挙にて連続当選。現在 3 期目。
- ▶ 国会対策副委員長などを経て、平成 29 年 4 月、第 3 次安倍第 2 次改造内閣にて経済産業大臣政務官就任。産業・通商政策・資源エネルギー政策・中小企業政策などに注力。
- ▶ 自民党 副幹事長などを経て、令和元年 11 月より、自民党 税制調査会 幹事、財務金融部会 副部会長。厚生労働委員会、文部科学委員会などに所属。

自由民主党兵庫県第六選挙区支部ニュースレター 第 18 号（令和元年 11 月 20 日号）

頒布責任者

自由民主党兵庫県第六選挙区支部長 大串まさき
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイソコーフ 2-12

印刷者

株式会社プリントバック
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

大串まさきの国政報告

自民党 税制調査会 幹事に就任 財務金融部会 副部会長も兼務

税制改正に向けて

責任与党である自民党の中でも、もっとも重要な仕事として税制改正の議論があります。その中心が「税制調査会」。略して「税調」と呼ばれる会議体です。今期は、3 期目としては異例の税調の幹事に就任しました。

各団体の意見を聞きながら、活力ある社会を作る税制改正の議論をします。当然、利害対立がありますので調整的な仕事も含まれます。政策的な中立性や公正性が求められる難しい立場でもあります。



自民党内での政策議論では取りまとめ役も。隣は関よしひろ内閣第二部会長。

そして毎年この時期、年末に向けて、来年度予算案の策定と税制改正大綱の取りまとめ。与党にしかできない大きな役割です。近年では厳しい財政状況の中、予算の使途は重点政策に集中せざるを得ません。その分、税制改正に注目が集まります。税率を上げて税収を増やしたり、減税措置で市場を活性化したり、検討すべき分野は多岐にわたります。私も税調幹事として、その真っ只中で、責任を持って仕事をして参ります。

与党の政治家として、税制をしっかりと理解して調整をしていく経験は必須だと考えています。好きな分野だけ、一点突破の仕事の仕方もありますが、やはり与党として総合的に政策を議論するのであれば、税制は最も重要な政策課題になります。

これまで社会保障政策を中心に仕事をして参りましたが、社会保障と税制・財政の議論は表裏一体。これからは社会保障と税の両面から、新しい時代に相応しい政策議論をして参ります。

財務金融部会でも活動

税調と併せて、部会の仕事も財務金融部会に移りました。財務金融部会の副部会長として、財政や税制だけでなく金融政策についても議論を進めています。この分野は、世界中に開かれているマーケットなので、今まで以上に国際感覚が必要です。海外からの投資を呼び込みながらも、強い経済の基礎をつくるのが金融政策。技術的に難しい話題にもなりますが、こちらもしっかりと対応して参ります。

地元と国を繋ぐ活動

国会議員は国政を預かる大切な仕事であります。しかし、全国の小選挙区から選出される衆議院議員は、それぞれの地域の代表でもあります。地域の声をしっかり汲み上げて、国の制度へ反映したり制度改正を促したりすることが求められています。もちろん、地域エゴをゴリ押しするわけではありません。国全体を変えていく小さなタネを地元から拾い上げていくという地道な活動です。

兵庫六区は伊丹市、宝塚市、川西市（一部は兵庫五区）という大都市近郊の住宅街が中心となる3つの自治体からなります。とはいえ住宅街だけではなく、それぞれに特徴ある産業や文化活動があります。そういった産業を伸ばしていくこと、地域のさまざまな活動を応援していくことが大切な役割と考えています。



政策について分かりやすく解説し、皆さんの声を聴く「ミニ集会」も開催しています。

スポーツ・文化

伊丹・宝塚・川西では、地域スポーツも盛んです。昔はスポーツと言えば学校での「部活」が中心でしたが、働き方改革の流れの中で地域スポーツが見直されています。それぞれの市で軟式少年野球などは、毎週のように試合が組まれていて、私も子ども達にエールを送っています。もちろん大会運営の役員の方や監督コーチの方々の力も大切です。地域のスポーツ環境を整えることも政策として大切な課題。引き続き頑張っ参ります。

文化活動も盛んです。地域の文化祭に伺うと、いろいろな作品と出会えます。絵画や造形、茶道、能楽、踊りなどジャンルもさまざま。また、子どもから年配の方まで、あらゆる世代がそれぞれに楽しんでいることも特徴です。文化活動については、国の支援メニューも多々ありますので、これを地域に繋いでいくことにも積極的に取り組んでいます。



川西市の軟式少年野球大会でご挨拶



宝塚市手工芸公募展で作品の説明を伺う

地域産業の振興

宝塚市は歌劇の街として有名ですが、古くから造園業で栄えた街でもあります。接ぎ木の「技術」から地域産業が発展してきたという点では注目に値します。

海外でも日本庭園の素晴らしさが高く評価されている時代です。産業としてまだまだ伸びていく可能性を秘めています。技術を大切にして次の世代へと引き継ぎながら、地域産業の振興へと繋げていくように頑張ります。

また、伊丹市を中心に宝塚市、川西市も、都市農業が盛んです。近年、都市農業は、その多面的機能が再評価されています。安全で安心な野菜などの地産地消、食育や土に触れる教育、交流の場の提供、都市の防災機能など、これからも守っていかねければなりません。

小さな農地でも効率よく農業が営めるように、また世代を超えて農業が魅力ある産業として引き継がれるように支援して参ります。



宝塚市で造園産業の振興について意見を伺う



伊丹市で市民のジャガイモ掘り体験に参加

暮らしの安心

都市部に限らず、地域の最大の課題は社会保障です。特に「地域包括ケアシステム」をどのように機能させるかは重要。医療と福祉の連携と言っても、それぞれに異なる知識で取り組みをしてきたわけですから、まずは地域の課題を共有しながら意見を交わす場が必要です。伊丹市では地域包括ケアを進めるために、定期的に対話の場を設定しています。私も常に参加してお話を伺って、国の施策に活かしています。

また国の政策として欠かせないのが障害者への対応です。「親亡き後」という、障害のある子どもをもつ親にとって、自分が死んだ後の子どもの生活への不安は深刻な課題です。これは社会が解決しなければなりません。障害者施策はまだ十分ではありませんが、施設整備費の予算の拡充など、さらに努める所存です。これからも地域のさまざまな声を聴き、これを国の施策に反映して参ります。



伊丹市の地域包括ケアを進める会



伊丹市の障害者のためのグループホーム開所式